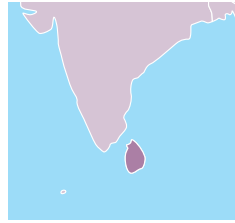




小企業育成事業(1)(2)

アジア スリランカ



中小零細企業へのツーステップローンにより、雇用創出・輸出増加に貢献

【外部評価者】

株式会社グローバル・グループ21ジャパン 園田 元

レーティング

有効性・インパクト	a	総合評価 A
妥当性	a	
効率性	a	
持続性	a	

本事業の目的

スリランカの中小零細企業へ低金利の事業資金および技術移転のための資金を供給することにより、中小零細企業の生産性・収益性・技術力の向上をはかり、もって雇用創出を促し、同国のバランスのとれた経済成長と貧困削減に寄与する。

借款契約概要

- 承諾額／実行額:
(第1期)54億3200万円／54億1000万円
(第2期)48億3800万円／44億9200万円
- 借款契約調印:
(第1期)1997年8月、(第2期)2001年1月
- 借款契約条件:(第1期)金利2.3%/(第2期)2.2%、返済30年(うち据置10年)、一般アンタイト
- 貸付完了:(第1期)2001年10月、(第2期)2006年3月
- 実施機関名:国立開発銀行(NDB)
- WEBページURL <http://www.ndbbank.com/>

本事業実施による効果(有効性・インパクト)

約9300企業(スリランカの中小零細企業の約3割)が融資を受け、その約3分の1で生産性・収益性が、約半数で技術力が向上したと考えられる。ほぼ7割の企業は融資後に再投資を行った。総合的に判断すると、約9割の融資事業が成功と見られる。

本事業による融資は、約4万人の雇用増加と年間約40億ルピー(全国総輸出額の0.7%)の輸出増加につながったと推計される。

本事業の実施により概ね計画どおりの効果発現が見られ、有効性は高い。

妥当性

本事業の実施は審査時および事後評価時ともに開発ニーズ、開発政策と十分に合致しており、中小零細企業の資金需要も大きく、妥当性は高い。

効率性

本事業は、技術移転のための融資が低調であったものの総融資額が計画の94%に達したこと、事業期間および事業費ともに計画内に収まったことから、効率的に実施されたと判断される。

今後の展望(持続性)

リボルビング・ファンド*の運用開始が遅れたが、参加金融機関の財務的持続性、参加金融機関から国立開発銀行への融資の返済状況、受益企業の持続性に大きな問題は見られず、高い持続性が見込まれると評価される。

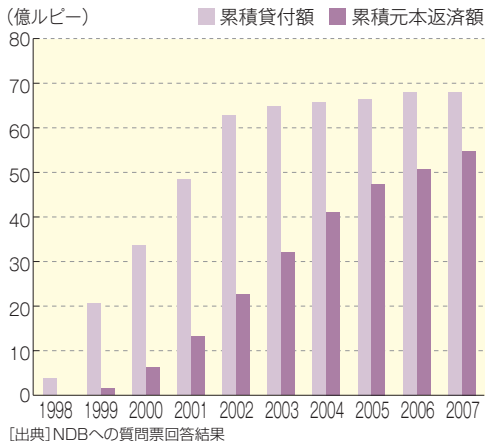
結論と教訓・提言

以上より、本事業の評価は非常に高いといえる。教訓として、ツーステップ・ローンの最終貸出金利を定期的に見直し、市場金利と連動させることが円滑な実施につながることで、中小零細企業に研修・技術サービスのための融資を促進するためには手続き費用の抑制、広報・情報提供・啓蒙、研修・技術サービス提供者との連携が重要であることが挙げられる。まだ一部運用が開始されていないリボルビング・ファンドについては、速やかに運用開始することが望まれる。



受益企業の事例:ビスケット製造工場

NDBの累積貸付額・累積元本回収額(第1期+第2期)



*サブローンの返済期間と円借款の返済期間のギャップから来る余剰資金。これを利用して新規融資を行う。